



SOUNDLOOK

ステレオCDシステム

型番

SDB-1700

家庭用

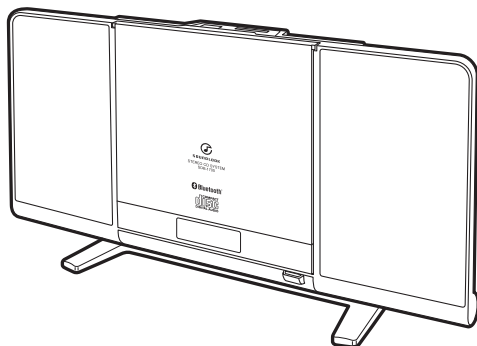
日本国内専用
Use only in Japan

取扱説明書

(保証書別途添付)

このたびはサウンドルックステレオCDシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

なお、お読みになられたあとも、保証書とともにお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。



目次

安全上のご注意	1~3
ご使用になる前に	4
CDについて	4
結露について	4
バックアップ用電池について	4
各部のなまえ	5~6
設置・接続のしかた	7
スタンドの取り付けかた	7
壁への取り付けかた	7
設置場所について	7
接続のしかた	7
リモコンスタンド	7
リモコンについて	8
リモコン	8
リモコンの使いかた	8
リモコンの電池について	8
リモコンの電池交換	8
時計の合わせかた	9
スリープ機能	9
ディスプレイのバックライトについて	9
アラームの使いかた	10
スヌーズ機能	10
CDを聴く	11
ディスプレイの表示について	11
いろいろな演奏のしかた	12
プログラム演奏	12

リピート演奏/ランダム演奏	12
MP3ファイルを聴く	13
USB機器について	13
SDカードについて	13
再生の順序	14
いろいろな演奏のしかた	14
リピート演奏/ランダム演奏	14
ラジオを聴く	15
プリセット機能	15
Bluetooth® 機器の音声を聴く	16
Bluetooth®について	16
外部音声機器を聴く	17
つなぎかた	17
イコライザー機能について	17
市販のヘッドホン/イヤホンで聴く	17
つなぎかた	17
故障かな?と思われたときは	18
「リセット」スイッチについて	18
お手入れのしかた	19
本体のお手入れ	19
レンズのお手入れ	19
仕様	19
アフターサービスについて	20
お客様の個人情報のお取り扱いについて	23

小泉成器株式会社

安全上のご注意

- *ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- *ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの



注意

誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性があるもの

絵表示例と絵表示の意味



○ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになられた後は、お使いになる方がいつも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警告

煙や異臭、異音が出たり、落下や破損したときは本体の電源を切り、コンセントからACアダプターを抜く

そのまま使用すると、事故の原因になります。
必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。



本体内部に異物や水などが入った場合は、本体の電源を切り、コンセントからACアダプターを抜く

そのまま使用すると、事故の原因になります。
必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。

本体内部に金属物や燃えやすいものを入れない
事故や故障の原因となります。

電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)使用しない

火災・感電の原因となります。

風呂場では使用しない

火災・感電の原因となります。

表示された電源電圧(交流100V)以外の電圧で使用しない(日本国内専用)

火災・感電の原因となります。

本体の通風孔、CDの挿入口などから金属類や燃えやすいものを差し込んだりしない
お子様のいるご家庭ではご注意ください。



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない

電源コードが破損して火災・感電の原因となります。

電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードが本体の下敷きにならないようにする

電源コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

電源コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。



万一、本体を落としたり、破損した場合は、本体の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

雷が鳴ったら、機器の金属部やACアダプターに触れない また屋外で使用しない

落雷や誘電雷により感電・やけど・機器の焼損の原因となります。

使用しているときはすぐに機器から離れてください。



濡れた手でACアダプターを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



改造はしない 修理技術者以外の人は分解したり修理をしない

事故やケガの原因となります。
修理はお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。



安全上のご注意

⚠ 注意

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。

油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

本体の変形・変質・火災・故障の原因となることがあります。直射日光の当たる高温の自動車内には置かないでください。



電源コードを熱器具に近付けない

電源コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



湿気やほこりの多い場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

レーザー光線をのぞき込まない（CD部）

レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

指定以外の電池、新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない

電池の破裂・液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない

電池の破損・液もれにより、火災・ケガの原因となることがあります。

テレビ、オーディオ機器等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する
接続は指定のコードを使用する

電池のプラス・マイナスは正しく入れる

電池の発熱・破裂・液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池は幼児の手の届かないところに保管する
万一飲み込んだ場合にはただちに医師とご相談ください。



はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。



旅行などで長期間、ご使用にならないときは必ずACアダプターをコンセントから抜いておく
火災の原因となることがあります。

お手入れの際は安全のためACアダプターをコンセントから抜いて行う

感電の原因となることがあります。



ACアダプターを抜くときは電源コードを引っ張らない

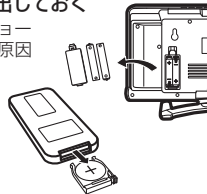
電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

移動させる場合は、本体の電源を切り、必ずACアダプターをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行う

接続コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

長時間使用しないときはバックアップ用乾電池、リモコンの電池を取り出しておく

電池の液もれて回路がショートし、火災・ケガ・汚損の原因となることがあります。



幼児がCD挿入口に、手を入れないように注意する

ケガの原因となることがあります。



ご使用になる前に

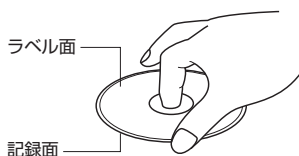
CDについて

CDの種類

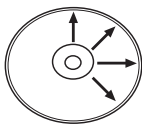
-  マークの入ったディスクをご使用ください。
- CD-R/RWの場合は、CD-DA (Compact Disc Audio) フォーマットで記憶されたディスク (ファイナライズされたもの※) を再生することができます。ただし、ディスクおよび記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。
※音楽用CD-R/RW再生対応機器で再生できるように処理すること。
- コピーコントロールCDやCD規格外の特形状ディスクを使用される場合、再生・音質の保証はしかねます。

CDの取り扱い

※記録面に触れないように、CDの端を持ってください。



※CDに指紋や汚れが付いたときは、やわらかい布などで、中心から端へとふき取ってください。



※再生面やラベル面に、紙やテープなどを貼らないでください。またラベル面がはがれたCDは使用しないでください。



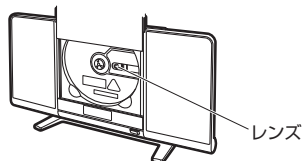
ご注意

円形以外(ハート型など特形状)のディスク、ひびやそりのあるディスクは絶対に使用しないでください。

結露について

周辺の温度が急激に変化した場合、レンズが結露することがあります。レンズに水滴がついた状態では正しく演奏できません。

このような場合、電源を入れ、CDドアを開けたまま約1～2時間たってから使用を開始してください。



バックアップ用電池について

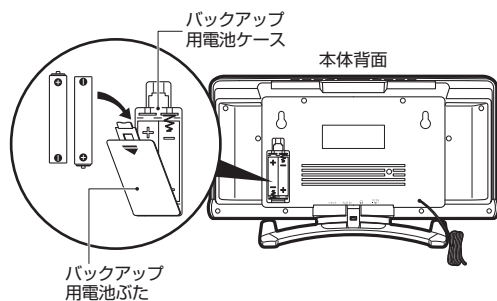
バックアップ用電池とは、停電時などに時刻設定・プリセット設定などを一時的に記憶しておくための電池です。

ご注意

本機はバックアップ用電池を入れなくても動作しますが、停電時やACアダプターを抜くと時計機能などを維持しません。

バックアップ用電池の交換

単4形乾電池2本(別売)を極性(+、-)を間違えないように入れてください。



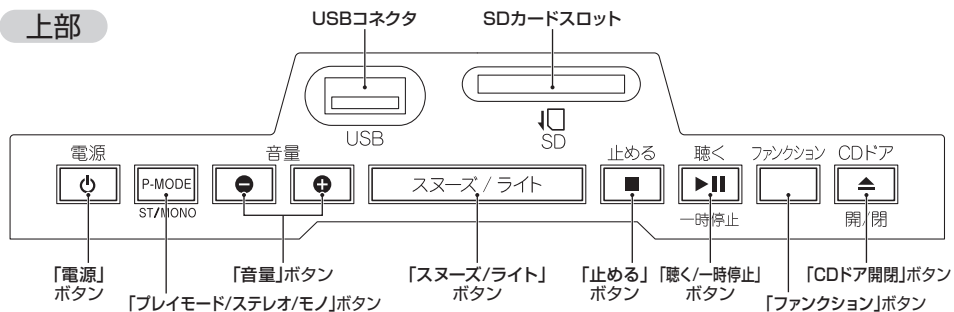
ご注意

電池の破損・液もれ防止のために次のことはお守りください。

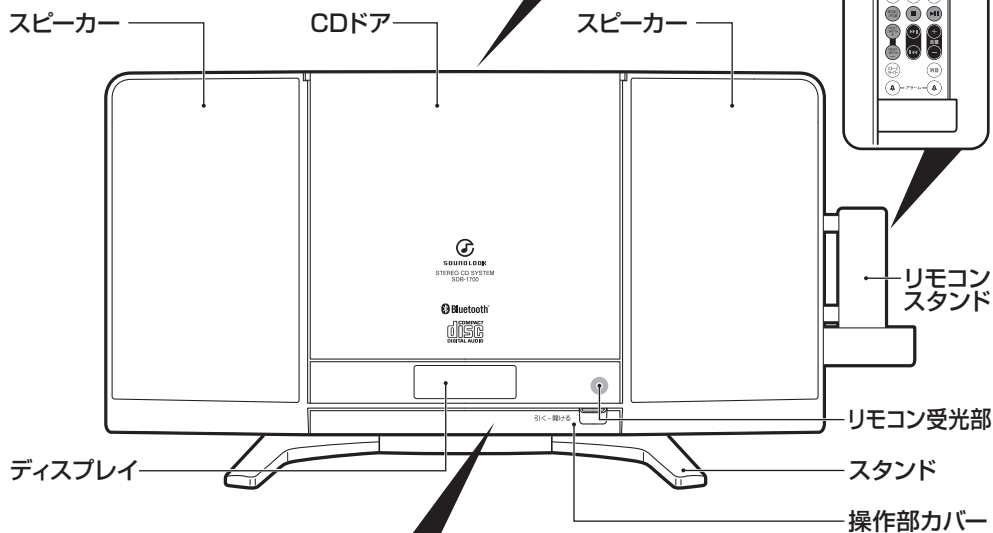
- 長時間未使用の場合、液もれを起こすことがあります。
- 長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。
- 使い切った乾電池はすぐに取り出し、分別廃棄してください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、異なった種類は混ぜないでください。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
- 火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしないでください。

各部のなまえ

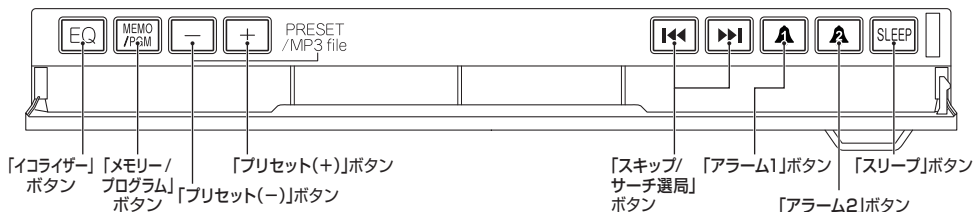
上部



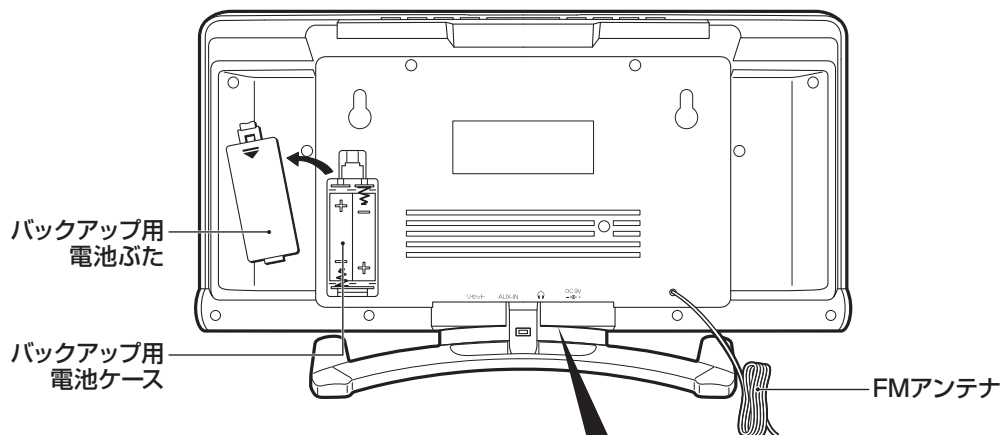
正面



操作部

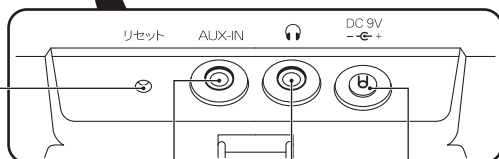


背面



「リセット」スイッチ

使用中、ボタン操作を受け付けられないなど動作がおかしいときは、先の細いもので押してください。
出荷時の初期状態になります。
(→P.18参照)



AUX IN端子 (外部入力端子)

外部音声機器と市販の接続コード(φ3.5mmステレオミニプラグ)をつなぎます。
(→P.17参照)

ヘッドホン端子

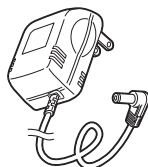
市販のヘッドホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)をつなぎます。
(→P.17参照)

DC IN端子

付属のACアダプターをつなぎます。
(→P.7参照)

付属品

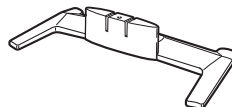
※以下の付属品が同梱されていることを確認してください。



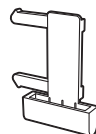
●ACアダプター (SAD-9015)



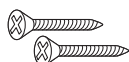
●リモコン(ボタン電池付属)



●スタンド



●リモコンスタンド



●壁掛け用ネジ (2本)



●取付けガイド

●取扱説明書

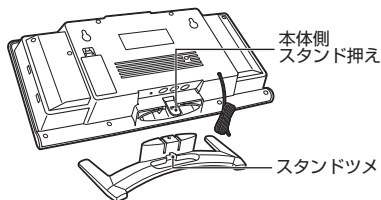
●保証書

万一故障した場合はお買上の販売店にご相談ください。

設置・接続のしかた

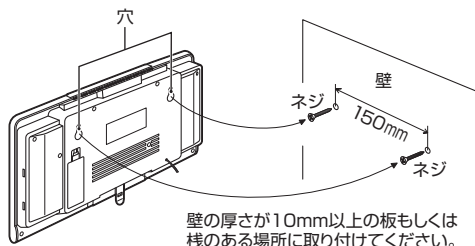
スタンドの取り付けかた

スタンドのツメと本体背面のスタンド押えを合わせて、本体を押し込む。



壁への取り付けかた (参照) 付属の取付けガイド

1. 付属の壁掛け用ネジを壁に取り付ける。
2. 本体背面の穴をしっかりとめ込む。



ご注意

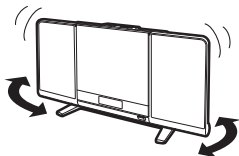
土壁、繊維壁には直接掛けないでください。
使用中に落下するおそれがあります。

設置場所について

ラジオをきれいな音でお楽しみになるには、なるべく窓ぎわの電波の届きやすいところに置いてご使用ください。

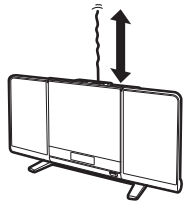
AM放送の場合

本体を動かし、もっとも良く聞こえるところに設置してください。
(アンテナは本体内蔵)



FM放送の場合

できるだけ高いところにFMアンテナを張ってください。



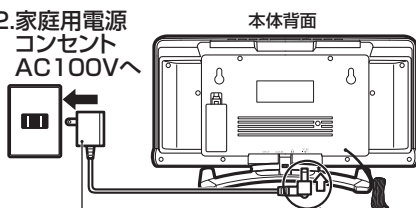
●次のような場所では使用・保管しないでください。

- 直射日光を浴びる場所や暖房器具のそば。
- ちりやほこりなどの多い場所。
- 風呂場など湿気の多い場所。

接続のしかた

※付属のACアダプター(型番:SAD-9015)は、SDB-1700専用です。他の製品には使用しないでください。

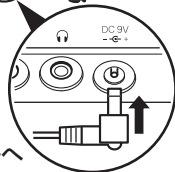
2. 家庭用電源 コンセント AC100Vへ



ACアダプター

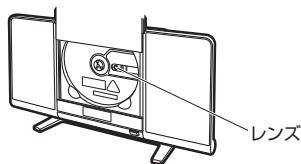
※使用中、熱くなりますが異常ではありません。

1. 本体の DC IN端子へ



ご注意

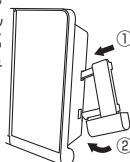
- ACアダプターをコンセントから抜くときは、必ずACアダプターを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ったり、濡れた手でさわると、ショートや感電の恐れがあります。
- 電源コードの上に重いものせないでください。
電源コードに傷がついて、火災や感電の原因になります。
- キャッシュカードや定期券などの磁気カード類、録音テープ、時計などを近づけないでください。
- 本体の分解・改造は絶対にしないでください。
- 温度が低い環境で操作されますと、まれにCDドアの開閉動作が遅く、スムーズでない場合があります。その場合は、あたたかい場所に移動させ、しばらくしてから使用を開始してください。
- テレビやチューナーなどのそばで使用しないでください。雑音や画像の乱れが起こる場合があります。できるだけ離すか、同時使用を避けてください。
- レンズにほこりがつかないように、使用しないときはCDドアを開めておいてください。またレンズにはさわらないようにしてください。



リモコンスタンド

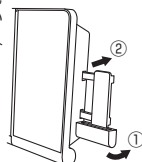
取り付けかた

上部を先に差し込んでから下部を差し込みます。



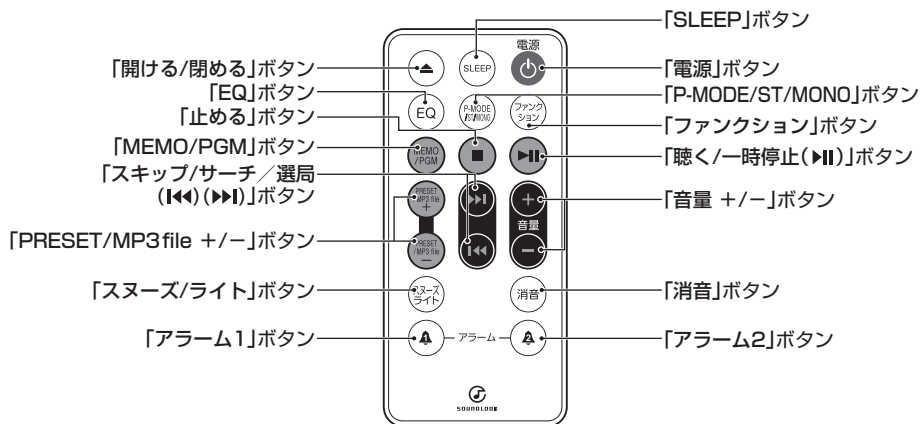
取り外しかた

下部を先に外してから上部を外します。

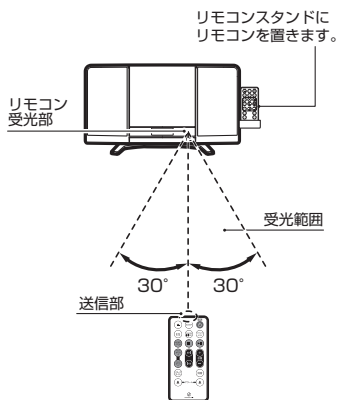


リモコンについて

リモコン



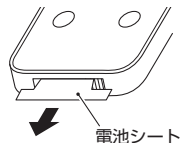
リモコンの使いかた



リモコンの電池について

リモコンにはボタン電池(CR2025)が付属しております。

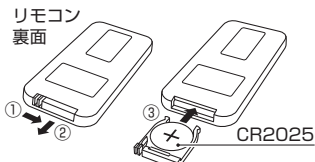
はじめてお使いになるときに、リモコンの電池シートを矢印の方向に引き抜いてください。



リモコンの電池交換

ボタン電池(CR2025)を極性(+,-)を間違えないように入れてください。

ボタン操作がしづらくなったら、リモコンの電池を交換してください。

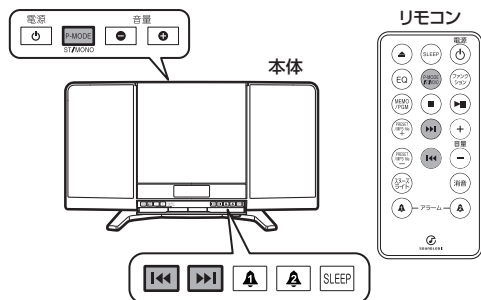


ご注意

電池の破損・液もれ防止のために次のことはお守りください。

- 長期間未使用の場合、液もれを起こすことがあります。
- 長期間使用しないときは、ボタン電池を取り出しておいてください。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
- 火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしないでください。

時計の合わせかた

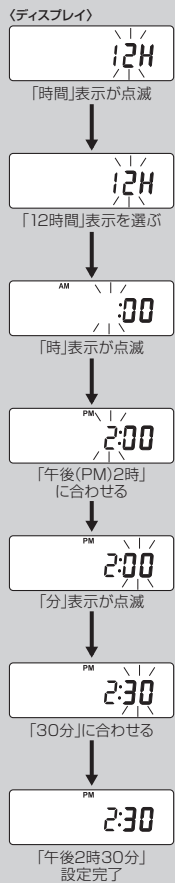


- 約10秒以内に操作しないと、元の状態に戻ります。

電源「切」の状態

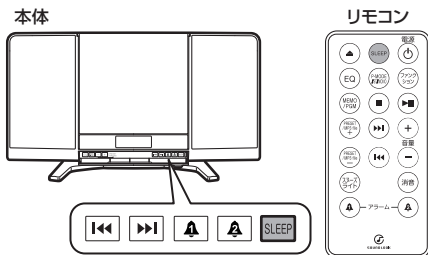
1. **P-MODE** を押す。
ST/MONO
2. **⏮** **⏭** で
「時間」表示を選ぶ。
「12H」…12時間表示(AM/PM)
「24H」…24時間表示
3. **P-MODE** を押す。
ST/MONO
4. **⏮** **⏭** で
「時」表示を合わせる。
5. **P-MODE** を押す。
ST/MONO
6. **⏮** **⏭** で
「分」表示を合わせる。
7. **P-MODE** を押して設定完了。
ST/MONO

例: 12時間表示の
午後2時30分に設定



スリープ機能

■設定した時間が経つと自動的に電源が切れます。

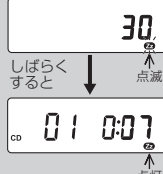


電源「入」の状態

SLEEP を押して、指定したい時間
に合わせる。

→15→30→45→60→90
OFF(スリープ解除)←

例: 30分後に設定
(ディスプレイ)



- SLEEP** を押すたびに設定時間が変わります。
- ディスプレイに表示された **ZZ** が点滅から点灯になると、設定完了です。

解除する **SLEEP** を押して“OFF”を選ぶ。

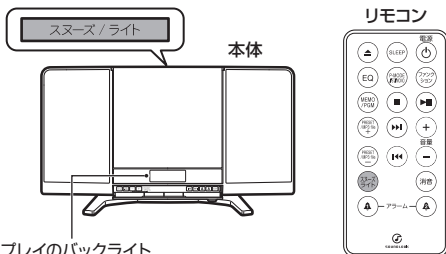
残り時間を
確かめる

スリープ機能作動中

SLEEP を1回押す。

ディスプレイの バックライトについて

スヌーズ / ライト でディスプレイのバックライトの
常時点灯(ON)、消灯(OFF)の切り換えができます。



ディスプレイのバックライト
常時点灯(ON)/消灯(OFF)

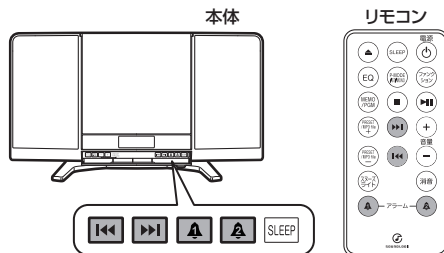
アラームの使いかた

あらかじめ

- ① 時計を合わせておく。(P.9参照)
- ② 音源(ラジオ/CD/USB機器/SDカード)を準備しておく。

■設定した時刻にお好みの音源を鳴らすことができます。

- 音源は[電子音]/[ラジオ]/[CD]/[USB機器]/[SDカード]内の音楽データの4種類から選択。



- 3種類の設定(🔔 アラーム1/🔔 アラーム2/🔔🔔 アラーム1・2)をし、使い分けることができます。

アラーム時刻を設定する

- 約10秒以内に操作しないと、元の状態に戻ります。

■ 🔔 アラーム1を設定する場合

1. 🔔 を長押しする。

2. ⏮ ⏭ で「時間」を合わせて 🔔 を押す。

3. ⏮ ⏭ で「分」を合わせて 🔔 を押す。

4. ⏮ ⏭ で「アラーム音源」を選んで 🔔 を押す。



5. ⏮ ⏭ で「音量」を合わせて 🔔 を押す。

- (最小) "L10" ~ "L30" (最大)
- ※ 音源[電子音]では音量設定できません。

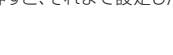
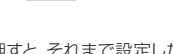
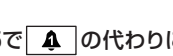
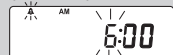
■ 🔔🔔 アラーム2を設定する場合

上記1で 🔔 を長押しし、2~5で 🔔 の代わりに 🔔 を押す。

※設定途中で スヌーズ/ライト を押すと、それまで設定したものが保存されます。

例: 🔔 アラーム1を音源CDで午前6時30分に設定

<ディスプレイ>



<ディスプレイの左上>



アラームを設定する

🔔 または 🔔 を押して、左記で時刻設定した "🔔"/"🔔"/"🔔🔔"を選択する。

鳴っているアラームを止める

🔔 または 🔔 を押す。(翌日の同時刻まで停止します。)

アラームの解除

🔔 または 🔔 を押して、ディスプレイから "🔔" と "🔔" を消す。

■音源を[電子音]にした場合

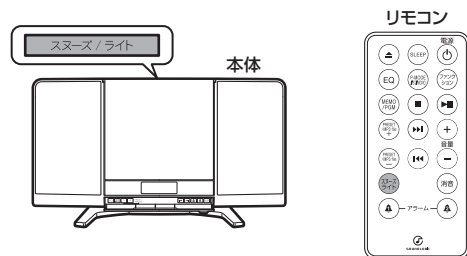
- 音量の設定はできません。
- アラームが鳴り続けて約3分間経過すると、自動的にスヌーズ機能がはたらきます。

■音源を[ラジオ/CD/USB機器/SDカード]にした場合

- 音量は(最小) "L10" ~ "L30" (最大)まで設定できます。
- アラームは設定した音量まで徐々に大きくなります。
- アラームが鳴り続けて約30分間経過すると、翌日の同時刻までアラームは停止します。
- 最後に設定したファンクションがAMの時はAMラジオになり、AM以外の時はFMラジオになります。

スヌーズ機能

鳴っているアラームを一時的に停止させることができます。



アラームが鳴っているとき

スヌーズ/ライト を押す。



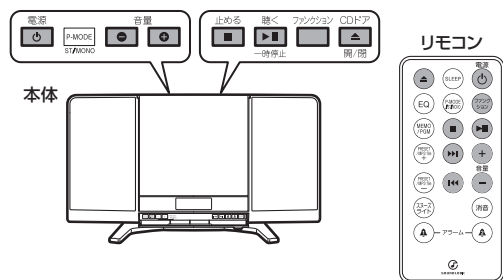
- 10分間停止後、再び鳴り始めます。
- スヌーズ機能は3回繰り返され、4回目のアラーム後、翌日の同時刻まで停止します。

スヌーズ機能を止める

🔔 または 🔔 を押す。(翌日の同時刻まで停止します。)

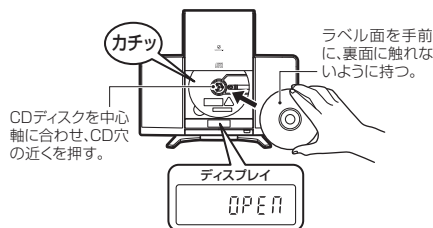
CDを聴く

※CDドア内部にCDレンズ保護シートがはめられています。
ご使用前に保護シートを取り外してください。



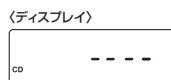
1. **電源**
電源ボタンを押して電源を入れる。

2. **CDドア**
開/閉ボタンを押して
CDドアを開け、CDをセットする。



• CDドアを閉めるには、もう一度開/閉ボタンを押す。

3. **ファンクション**
ファンクションボタンを押して
「CD」を選択する。



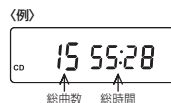
- ディスプレイに全曲数が表示された後、1曲目から演奏が自動的に始まります。
- 全曲演奏が終わると、自動停止します。
- 演奏停止後、無操作の状態です約1分間経過すると自動的に電源が切れます。

音量を調節する	音量 音量減ボタン 音量増ボタン を押す。
演奏を止める	止める ■ ボタンを押す。
一時停止をする	聴く ▶ ボタンを押す。 一時停止 • 演奏に戻るにはもう一度押す。
早送り・早戻しする	演奏中／一時停止中に ◀◀ ▶▶ ボタンを押し続ける。 • ボタンから指を離すと演奏に戻る。
曲の頭を探す (スキップ)	演奏中／一時停止中に (前の曲へ) ◀◀ ▶▶ (次の曲へ) ボタンを押す。 停止中に ◀◀ ▶▶ で聴きたい曲を選んだ後、 聴く ▶ ボタンを押す。 一時停止

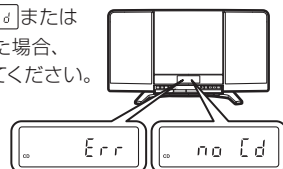
ディスプレイの表示について

停止中

総曲数と総時間が表示されます。



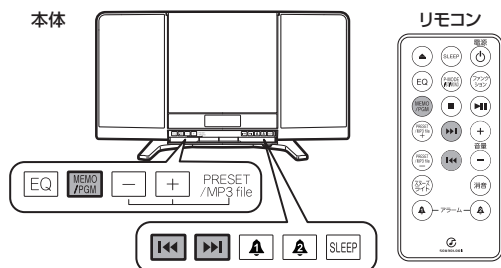
- ディスプレイに `no [d]` または `err` が表示された場合、以下の項目を確認してください。



- ① CDが正しくセットされていますか？
- ② CDの裏表を間違えていませんか？
- ③ レンズが汚れていませんか？ (P. 19参照)
- ④ CDが汚れたり、傷ついていませんか？
正常に作動しているときは、ディスプレイに数字で曲数(99曲まで)が表示されます。
- ⑤ 使用できないCDを挿入していませんか？ (P. 4参照)

いろいろな演奏のしかた

プログラム演奏（お好みの曲を予約順に聴く）



停止中に

1. を押す。

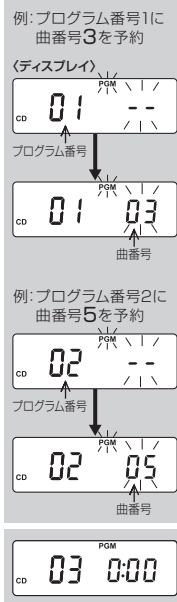
2.   で
お好みの曲を選び、
 を押す。

3. 上記の2の操作を繰り返し、予約していく。

- 最大20曲までお好みの曲を予約順に聴くことができます。

4.  を押す。

- プログラム演奏が始まります。



予約順を
間違えたとき

曲番号“ - - ”のとき

MEMO /PGM を押す。

(プログラム番号1に戻ります。
再度、曲番号を予約してください。)

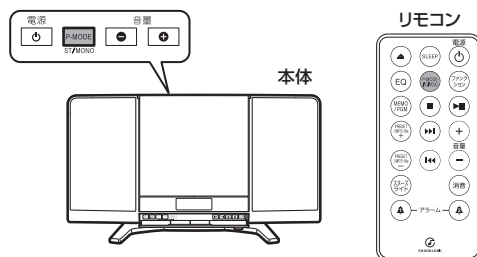
プログラムを
解除する

止める

を押す。

(プログラム演奏が停止し、)
(プログラムが解除されます。)

リピート演奏(くり返し)/ランダム演奏(順不同)



演奏中／一時停止中に

P-MODEを押す。 ● 押すごとに設定が変わります。
ST/MONO



🔄 1曲繰り返し … お好みの1曲を繰り返し演奏します。

〔ALL〕 **全曲繰り返し** … 全曲を繰り返し演奏します。

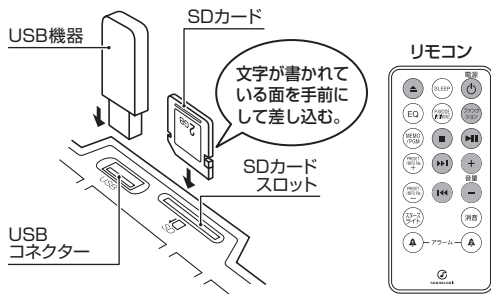
RND ランダム(順不同) … 順不同に演奏します。

MP3ファイルを聴く

- 本機で再生できるのはMP3ファイルのみです。
- 著作権保護付きの音楽ファイルは再生できません。
- ID3タグには対応していません。

■USB機器あるいはSDカードに保存された音楽ファイル(MP3ファイル)を聴くことができます。

1. USB機器/SDカードを本体に差し込む。



2. 電源 を押して電源を入れる。

3. を押して「USB」または「SD」を選ぶ。

(ディスプレイ)



- 1曲目から自動的に演奏が始まります。
- 全曲演奏が終わると、再び1曲目から演奏が始まります。(全曲繰り返し)

音量を調節する	音量   を押す。
演奏を止める	止める  を押す。
一時停止をする	聴く  を押す。 一時停止 ●演奏に戻るにはもう一度押す。
早送り・早戻しする	演奏中/一時停止中に   を押し続ける。 ●ボタンから指を離すと演奏に戻る。
曲の頭を探す (スキップ)	演奏中/一時停止中 (前の曲へ)   (次の曲へ) を押す。 停止中   で聴きたい曲を選んだ後、 聴く  を押す。 一時停止

USB機器について

USB2.0 FAT16/32 対応

- USBマストレージクラス対応のUSB機器をご使用ください。
それ以外のUSB機器を使用すると、正常に再生できない場合があります。また、上記規格に準拠したUSB機器でも種類や形状によっては、正常に再生できない場合があります。
- 使用するUSB機器がUSBマストレージクラスに対応しているかどうかは、USB機器メーカーにお問い合わせください。
万一、他の機器を接続して発生した故障や破損、データの損失などについては、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

SDカードについて

FAT16/32 対応

- SD規格に準拠したSDカードおよびSDHC規格に準拠したSDHCカードをご使用ください。
- 64MB～2GBのSDカード、4GB～32GBのSDHCカードが使用できます。
 - マルチメディアカード(MMC)は使用できません。
- miniSD/miniSDHCカード、microSD/microSDHCカードは専用アダプターが必要です。
- SD/SDHC、miniSD/miniSDHC、microSD/microSDHCはSDアソシエーションの登録商標です。

※SDカード裏面の金属端子部に手や金属で触れないでください。

ご注意

- USB機器やSDカードによっては、読み込みに時間がかかる場合や、本機で正常に再生できない場合があります。
- 対象としている圧縮形式はMP3のみです。
- 本機からUSB機器やSDカードを取り外すときは、再生を停止し、電源を切り、数秒置いてから行ってください。
- パソコンなどでUSB機器/SDカードに音楽を保存する方法につきましては、パソコンメーカーにお問い合わせください。
- USB機器やSDカード再生中に振動や衝撃を与えたり、引き抜いたりしないでください。データ消失や故障の原因になります。

再生の順序

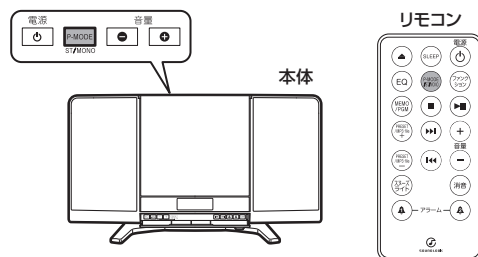
下図のように、USB機器/SDカードに音楽ファイルが書き込まれた順に再生します。
ファイルとフォルダが混在する場合、直接保存されたファイルを優先して再生します。

(例)

USB機器/SDカード内	作成日時	再生順
001.mp3	2012/04/01 12:30	②
002.mp3	2012/04/01 12:00	①
AAA	2011/01/01 12:00	
a001.mp3	2012/03/01 00:00	⑦
a002.mp3	2012/01/01 01:00	⑥
a003.mp3	2012/01/01 00:30	⑤
BBB	2010/01/01 12:00	
b001.mp3	2013/04/01 12:00	③
b002.mp3	2013/04/01 12:30	④

いろいろな演奏のしかた

リピート演奏(くり返し)/ランダム演奏(順不同)



演奏中/一時停止中に

P-MODE を押す。 • 押すごとに設定が変わります。
ST/MONO

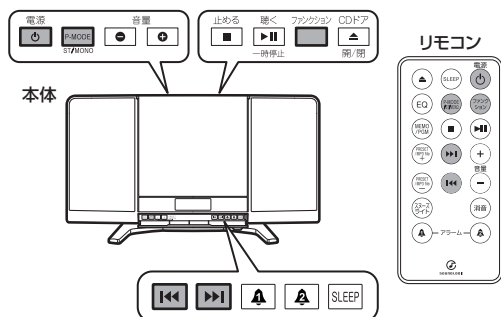


ALL **全曲繰り返し** … 全曲を繰り返し演奏します。

1曲 **1曲繰り返し** … お好みの1曲を繰り返し演奏します。

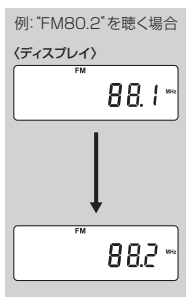
RND **ランダム(順不同)** … 順不同に演奏します。

ラジオを聴く



- 約10秒以内に操作しないと、元の状態に戻ります。

- 電源
1. を押して
電源を入れる。
- ファンクション
2. を押して
「AM」/「FM」を選ぶ。
3. で
聴きたい放送局を選ぶ。

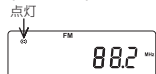


ステレオ/モノラル
を切り換える

FM放送受信時

を押して
切り換える。

例: FMステレオ放送受信時
(ディスプレイ)



(FMステレオ放送受信時、ディスプレイ)
の左上に“P”が点灯します。

FMステレオ放送
が雑音で聴き取
りにくいとき

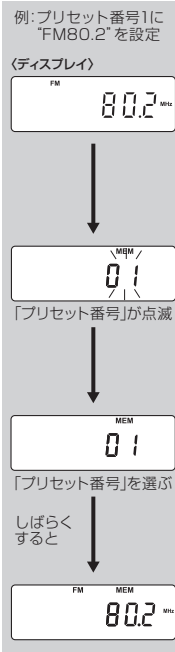
を押して、ディスプレイ左上の
“P”を消す。

プリセット機能 (お好みの放送局を記憶させる)

- 最大AM10局、FM10局まで記憶させることができます。

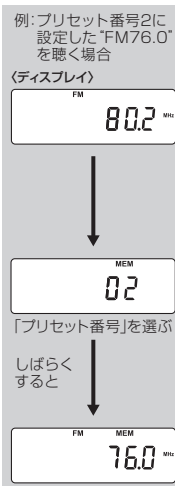
記憶させる

1. で
記憶させたい放送局に合わせる。
2. を押す。
3. で
記憶させたいプリセット番号を選び、
 を押す。
4. 上記1～3の操作を繰り返す。



記憶させた放送局を聴く

1. ファンクション
 を押して
「AM」/「FM」を選ぶ。
2. を押して
プリセット番号を選ぶ。

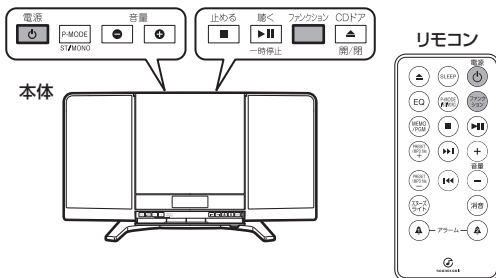


Bluetooth® 機器の音声を聴く

■Bluetooth®機器をつないで、本機をスピーカーとして使用することができます。

ご注意

- Bluetooth®で音声聴くには、Bluetooth®機器が以下に対応している必要があります。Bluetooth®機器に付属の取扱説明書などを確認してください。
【Bluetooth®バージョン】
Bluetooth®標準規格ver 1.1/1.2/2.0+EDR/2.1+EDR/3.0のいずれか
【Bluetooth®プロファイル】
A2DP/AVRCP
※Bluetooth®機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法、表示、動作が異なる場合があります。



1. 電源 を押して電源を入れる。

2. ファンクション を押して「」を選択する。

- 「」が点滅して、接続可能なBluetooth®機器の検索を開始します。

3. お手持ちのBluetooth®機器側でBluetooth®の設定画面などを開き、Bluetooth®発信を「ON」にする。

- Bluetooth®機器側の操作方は、Bluetooth®機器の取扱説明書などをご確認ください。

4. 接続可能な機種一覧で「SDB1700」を選択する。

- 本体とBluetooth®機器が接続された後、「」が点灯します。
- ファンクションをBluetooth®に選択した後、毎回最後に接続した端末と自動的に接続するために「」が10秒間ゆっくり点滅します。接続できなかった場合、「」が早く点滅し接続可能な端末を検索します。
- 本機がBluetooth®機器を検索、接続、解除する時は、短い電子音(小さい音量)が鳴ります。

5. 接続したBluetooth®機器の演奏をはじめます。

音量に過不足を感じる時

本機とBluetooth®機器の両方の音量を調節する。
※Bluetooth®機器の出力が小さく、音がうまく聴こえない場合があります。

Bluetooth®機器の接続を解除する

演奏終了後

ファンクション

電源

または を押す。

Bluetooth®について

●著作権

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所要する登録商標であり、小泉成器株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマーク及び商号は、各所有権者が所有する財産です。

●機器認定

本機は電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、使用する時に無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律に罰せられることがあります。

- ・本機を分解、改造すること。
- ・本機に貼ってある定格銘版を消す、はがすこと。

●使用制限

- ・日本国内でのみ使用できます。
- ・本機が以下の環境にある場合や建物の構造によって、使用可能距離(約10m)が短くなったり正常に動作しなかったりする可能性があります。
 - 電子レンジを使用中の周辺
 - 電波が反射しやすい金属物などの近く
 - その他の2.4GHz帯の電波を使用する機器の近く(ゲーム機やルーターなど)
- ・誤った取扱いをすると、Bluetooth®機器の内部に保存されているデータが破損したり消失する可能性があります。必ず事前にバックアップをしてください。
- ・本製品を使用したことによるデータの損失または消失について、いかなる場合においても当社では責任を負いかねます。データの復元、再インストール、損失補償などはいたしません。あらかじめご了承ください。

ご注意

本機の使用周波数帯域は2.4GHzです。この周波数帯は電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、免許を要する無線局®および免許を要しない無線局®が運用されています。

1. 本機を使用する前に近くで無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から上記の無線局に対して電波干渉が発生した場合は、速やかに本機の使用場所を変えるか、使用を停止し、電波干渉を避けてください。

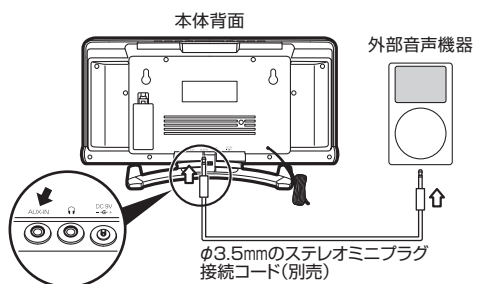
※1 工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局やアマチュア無線局など

※2 特定小電力無線局など

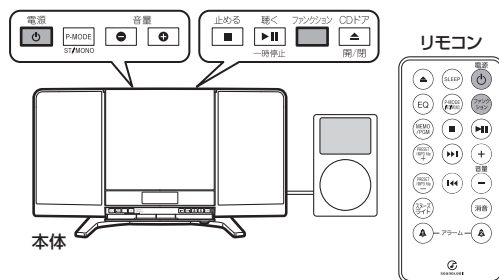
外部音声機器を聴く

■外部の音声機器をつないで、本機をスピーカーとして使用することができます。

つなぎかた



1. 本体背面の「AUX IN端子」へ
2. 外部音声機器の「出力端子」へ



1. 電源
電源ボタンを押して電源を入れる。
2. ファンクション
ファンクションボタンを押して“AUX”を選択する。
3. 外部に接続した音声機器の演奏をはじめる。

音量に過不足
を感じる時

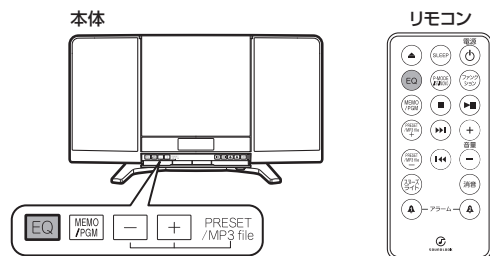
本機と外部に接続した音声機器の
両方の音量を調節する。
※外部に接続した音声機器の出力が小さく、
音がうまく聴こえない場合があります。

ご注意

外部の音声機器を聴くとき以外は、接続コードを本体から取り外してください。
CDやラジオ等を聴く場合、接続コードが本体に差し込まれたままになっていると、スピーカーから音が出ません。

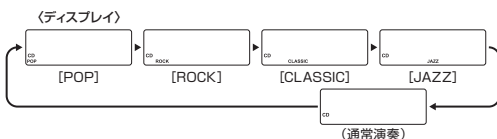
イコライザー機能について

■ファンクションの設定に関わらず、好みの音質で聴くことができます。



演奏中／一時停止中／停止中に

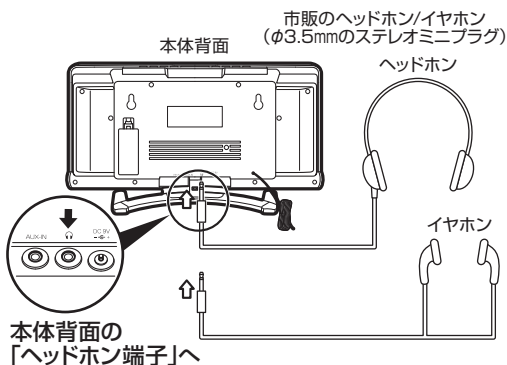
EQ を押す。 • 押すごとに設定が変わります。



市販のヘッドホン/イヤホンで聴く

■市販のヘッドホン/イヤホンを本機につないで、演奏を聴くことができます。

つなぎかた



ご注意

- ヘッドホン/イヤホンを本機につなぐときは、本機の音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。

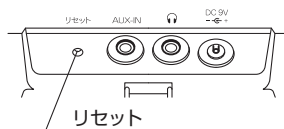
故障かな？と思われたときは

故障かな？と思われたときは以下の点をお調べください。
それでもなお異常があるときは、お買上げの販売店にご相談ください。

症状	チェックポイント	処置のしかた
電源が入らない。	ACアダプターが抜けていませんか。	ACアダプターを確実に差し込んでください。
CDの演奏が始まらない。 CDが入っているのに“no cd”と表示する。	CDの表裏を間違えていませんか。 レンズが汚れていませんか。 レンズに霧や水滴がついていませんか。 CDがひどく汚れていませんか。	文字のある面を外側にしてください。 お手入れのしかたを参考にクリーニングしてください。 CDを取り出してCDドアを開け、1時間程置いてください。 汚れを落としてください。
	ファイナライズ処理(通常のCDプレイヤーで再生できるようにする処理)をされていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。 CD-R/CD-RWでは、ディスクや記憶に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。	CDを替えて試してください。
CDの音が飛び。	強い振動を与えていませんか。 CDがひどく汚れていませんか。 CDに大きな傷はありませんか。	振動を与えないでください。 汚れを落としてください。 CDを替えて試してください。
	CD-R/CD-RWでは、CDや記憶に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。	CDを替えて試してください。
ボタン操作を受けつけない。	—————	「リセット」スイッチを押して初期状態にし、もう一度試してください。
CDドアがすぐに開かない。	—————	安全の為、CD回転が止まってから開きます。
Bluetooth®機器と無線接続されない。	本機のBluetooth®バージョンとプロファイルに対応していますか。	Bluetooth®機器に付属の取扱説明書などで確認してください。 本機の仕様は19ページを参照ください。
	本機が他のBluetooth®機器と接続されていませんか。	他のBluetooth®機器の電源を切ってください。
Bluetooth®機器と接続されているが、本機から音がでない。	お使いのBluetooth®機器によって、音声出力を本機に設定しないと音がでないことがあります。	Bluetooth®機器に付属の取扱説明書などで確認してください。
Bluetooth®で音楽を聴いている時、音がとぎれる・飛び・雑音がする。	見通し距離(10m)を超えていませんか。	本機とBluetooth®機器を近づけてください。
	受信状態が悪くありませんか。	機器をスピーカーに近づけるか、機器とスピーカーの間にあるものを移動させてください。

「リセット」スイッチについて

使用中、ボタン操作を受け付けられないなど動作がおかしいときは、先の細いもので「リセット」スイッチを押してください。
出荷時の初期状態になります。



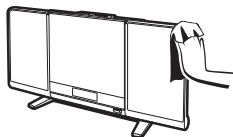
お手入れのしかた

本体のお手入れ

乾いた布などで拭いてください。

汚れがひどいとき

中性洗剤をうすめて布にふくませ、よく絞ってから汚れを拭きとってください。その後、から拭きしてください。



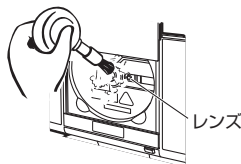
ご注意

ベンジンやアルコール、シンナーなどでは拭かないでください。
本体を傷める原因となります。

レンズのお手入れ

ごみやほこりがついた場合

レンズを市販のプロアーで2~3回吹き、プロアー先端のブラシでごみやほこりをはき出します。最後にもう一度レンズをプロアーで吹いてください。



ご注意

レンズには指紋や汚れをつけないようにしてください。

仕様

受信周波数	FM:76.00~90.00MHz AM:522~1629kHz	電源	AC100V 50/60Hz(付属ACアダプター使用時)
アンテナ	FM:ワイヤーアンテナ AM:フェライトバーアンテナ内蔵	消費電力	15W
スピーカー	6.4cm(8Ω)×2個	最大外形寸法	スタンド装着時: 約360(W)×95(D)×180(H)mm
出力端子	ヘッドホン端子×1	質量	約1.2kg(乾電池を除く)
入力端子	AUX IN 端子×1	付属品	スタンド、リモコン(ボタン電池付属) ACアダプター、リモコンスタンド 壁掛け用ネジ(2本)、取付けガイド 取扱説明書、保証書
実用最大出力	2.0W+2.0W(JEITA)		

●ACアダプター (SAD-9015)

入力	AC100V 50/60Hz 18VA	コード長	約1.8m
出力	DC9V 1000mA	プラグ形状	φ3.5mm -  +

※本機の仕様及び外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

●Bluetooth®部

バージョン	Ver.3.0	使用周波数帯域	2.4GHz帯 (2.402GHz~2.480GHz)
対応プロファイル	A2DP 1.0, AVRCP 1.0	最大通信距離	見通し距離約10m*

※通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。

アフターサービスについて

1. 保証書

- 保証書は別途添付されています。
保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は
商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- ステレオCDシステムの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、保証書に記載の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

愛情点検		★長年ご使用の音響機器の点検を！	
	ご使用の際 このようなことは ありませんか	●電源コードやACアダプターが異常に熱い。 ●電源コードに深いキズや変形がある。 ●コゲくさい臭いがする。 ●その他の異常、故障がある。	
	ご使用中 止	このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントからACアダプターを抜いて必ず販売店にご相談ください。	

MEMO

MEMO

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。尚、この目的のために小泉成器株式会社及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

ご意見・ご質問について

お客様相談窓口



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (07) 5555

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL. 06 (6262) 3561 FAX. 06 (6268) 1432

修理に関するお問い合わせ

東日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL. 048 (718) 3340 FAX. 048 (718) 3350

西日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL. 06 (6613) 3145 FAX. 06 (6613) 3196

部品に関するお問い合わせ

部品センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (00) 3211

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL. 06 (6613) 3211 FAX. 06 (6613) 3299

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号
TEL. 06 (6262) 3561 FAX. 06 (6268) 1432

受付時間：平日9：00～17：30
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2013年10月現在(所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)